



SAP Ariba 

機能の概要

Contract Terms Management API

Keertan Rai/Prasad Karani, SAP Ariba

一般提供予定: 2020 年 8 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: Contract Terms Management API

導入の難易度  やや複雑
対象エリア  グローバル

今までの課題

現在は、SAP Ariba UI 以外の方法で契約条件ドキュメントをトリガするためのインターフェイスがありません。そのため、パッケージ連携済みのお客様が、外部アプリケーションを使用して契約ワークスペースの作成/更新/取得を行う場合、API の使用場面は限定的なものでした。しかも、この状況は契約条件ドキュメントについても同様でした。

パッケージ連携とは、SAP Ariba Procurement ソリューションの購買および請求書ソリューションと、SAP Ariba Contracts などの SAP Ariba Strategic Sourcing ソリューションとの連携を指します。

対象ソリューション

SAP Ariba Contracts
SAP Ariba Sourcing
SAP Ariba Strategic Sourcing Suite
SAP Ariba APIs
SAP Ariba Developer Portal

SAP Ariba で問題解決

Contract Terms Management API は REST API です。これにより、バイヤーのお客様はパッケージ連携済みのソリューションを使用して以下を実行することができます。

- SAP Ariba システムの契約ワークスペースで契約条件ドキュメントを作成し、SAP Ariba Procurement ソリューションで対応する契約申請を作成する。
- 契約条件詳細およびコンプライアンス契約詳細を取得する。

関連情報

この機能は、該当するソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的に有効になりますが、お客様が設定する必要があります。

主なメリット

API によって、Ariba UI 以外の方法で契約条件をトリガする標準インターフェイスが提供されます。

API を使用することにより、SAP ソリューション以外のフロントエンドおよび実行アプリケーションを使用している場合に、これらのアプリケーションから契約条件やコンプライアンス契約を簡単に作成できるようになります。

お客様は、エンドユーザーにとって容易なプロセスのモデルを作成できます。

前提条件と制限事項

この API は、パッケージ連携済みのお客様がご利用いただけます。

お客様は、SAP Ariba Developer Portal でオンボーディングプロセスを完了する必要があります。クライアントでは、必要とされる OAuth 認証にアプリケーションが準拠していることを確認しておく必要があります。OAuth 認証を実行できるのは、SAP Ariba APIs の管理によって承認されているアプリケーションのみとなります。

機能の概要

説明: Contract Terms Management API

使用例

Contract Terms Management API を Contract Compliance API および Contract Workspace Modification API とともに使用して、SAP Ariba Procurement ソリューションと SAP Ariba Strategic Sourcing ソリューション (SAP Ariba Contracts など) の両方で契約を作成/管理するソリューションを開発します。

ユーザーが、契約ワークスペースで契約条件の詳細を作成および取得し、それに対応する契約申請 ID またはコンプライアンス契約 ID を SAP Ariba Procurement ソリューションから作成したり取得したりできるようにします。

顧客は、使用しているフロントエンドアプリケーションや実行アプリケーションが SAP ソリューションと異なる場合にも、それらのアプリケーションから契約条件やコンプライアンス契約を作成する必要があります。

前提条件

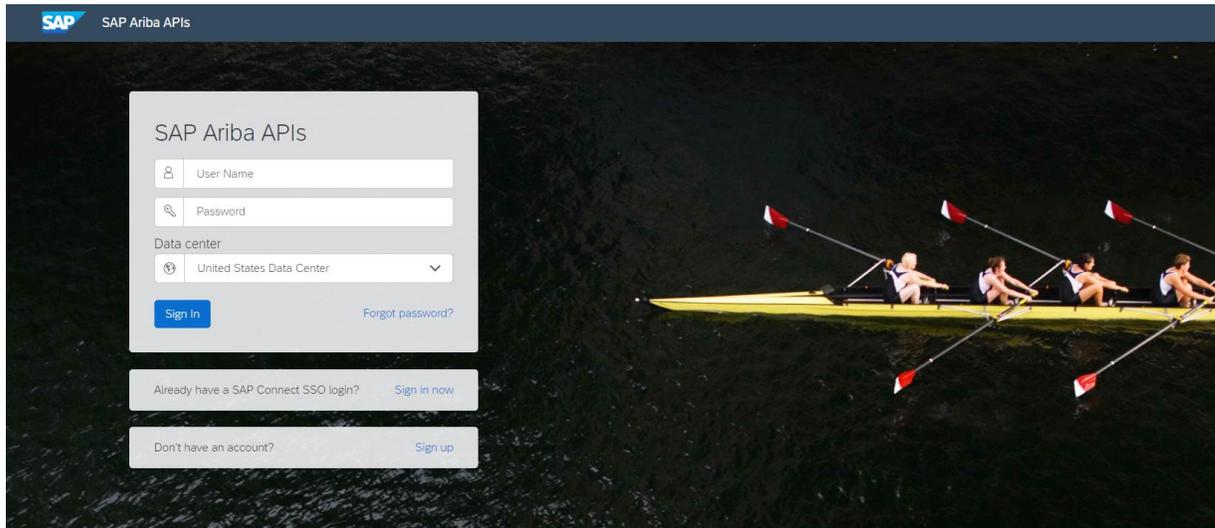
アプリケーションで SAP Ariba Contracts にあるデータにアクセスできるようにするには、以下の情報を SAP Ariba カスタマサポートに提供します。カスタマサポートがアプリケーションをサイトにマッピングします。

- clientID: OAuth クライアント ID
- テナント: SAP Ariba サイト (レルム) の名前

機能の概要

説明: Contract Terms Management API

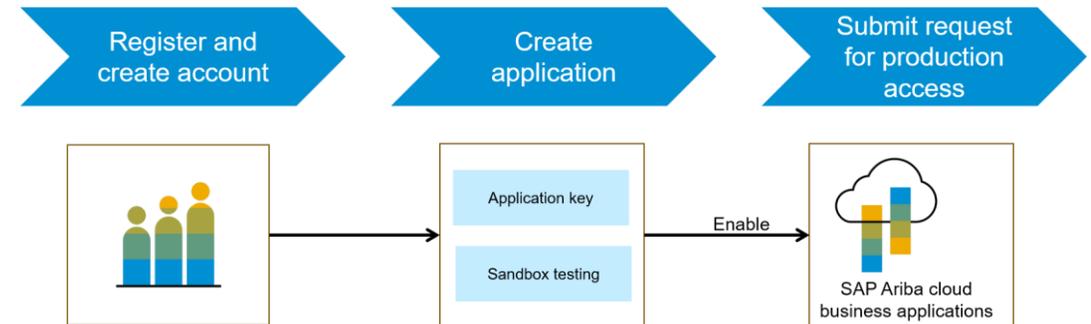
API を使用するアプリケーションの開発方法



Build powerful domain specific applications to address your customer needs using a rich environment and user friendly tools offered by SAP Ariba.

<https://developer.ariba.com/api/> に移動します。

[Learn] セクションを確認し、アプリケーションの開発方法に関する詳細を理解します。一般的に、アプリケーションを開発するプロセスには以下のステップが含まれます。



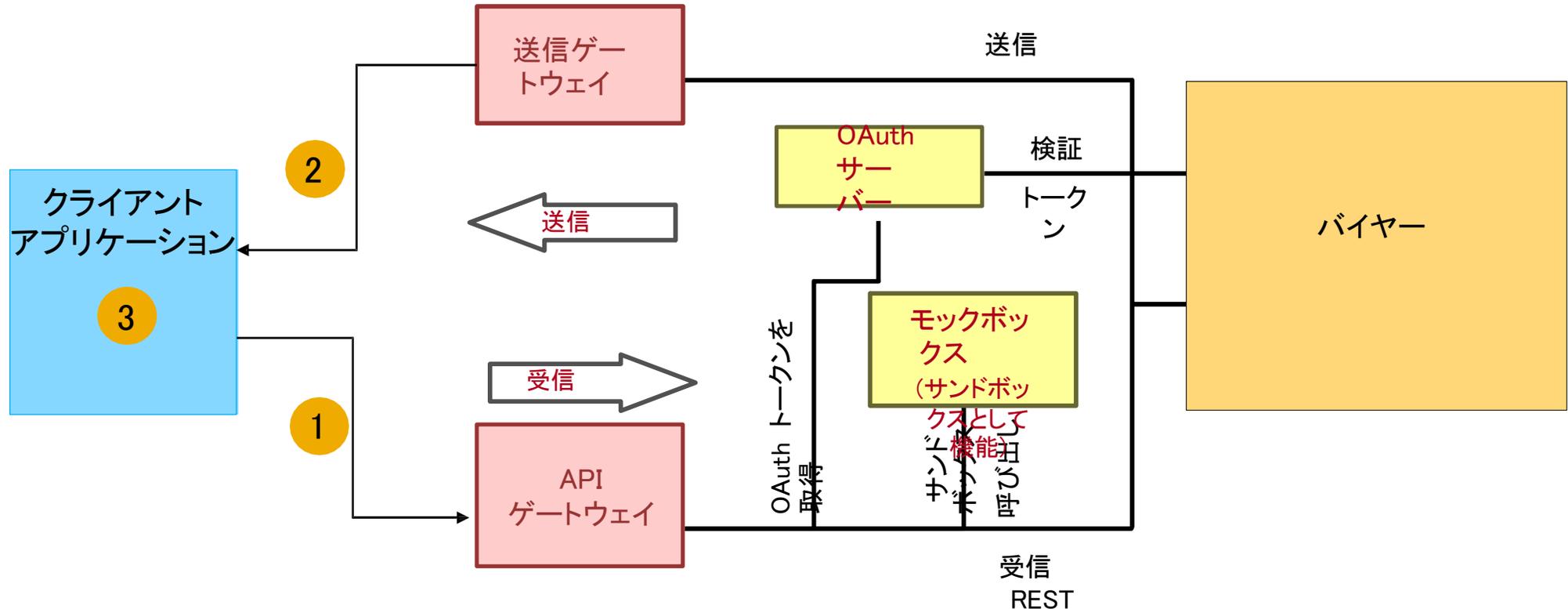
1. Developer ポータルでの登録後に、SAP Ariba Contracts で使用可能な API をチェックし、各 API の詳細を確認します。
2. 新しいアプリケーションを作成し、アプリケーションを有効化してアプリケーションキーを取得します。
3. <http://connect.ariba.com> で、サービスリクエストを提出し、作成したアプリケーションの「本稼働アクセス」を申請する必要があります。申請が承認されると、OAuth クライアント ID が生成されます。

機能の概要

説明: Contract Terms Management API

Contract Terms Management API のワークフロー

1. クライアントアプリケーションで、定義済みのパラメータセットを使用して Ariba Contracts または Sourcing に対するクエリが実行されます。
2. API が クエリに応答し、一致するレコードを含む JSON データセットを返します。
3. データを受け取ったアプリケーションで、そのデータが処理されます。



機能の概要

説明: Contract Terms Management API

サンプルコード

以下のサンプルコードの `{{runtime_url}}` を、SAP Ariba Developer Portal で、この API の Discovery ページにある [Environment Details (環境詳細)] テーブルに記載されている目的の実行時 URL に置き換えてください。

1. 以下は、指定した契約ワークスペース ID についての契約条件 ID、契約申請 ID、および契約 ID を含む詳細を作成する場合の例です。

POST `{{runtime_url}}/contractWorkspaces/{contractId}/contractTerms`

例: POST `{{runtime_url}}/contractWorkspaces/CW1234/contractTerms?user=customersupportadmin&passwordAdapter=PasswordAdapter1&realm=s4All-8`

[申請ファイルを確認する場合はこちら](#)、[応答ファイルを確認する場合はこちらをクリックしてください](#)。

このほかの Swagger の例については、次のサイトの [Discover] セクションを参照してください: <https://developer.ariba.com/api/>

機能の概要

説明: Contract Terms Management API

2. 以下は、指定した契約ワークスペース ID についての契約条件 ID、契約申請 ID、および契約 ID を含む詳細を取得する場合の例です。

GET `{{runtime_url}}/contractWorkspaces/{contractId}/contractTerms`

例: GET `{{runtime_url}}/contractWorkspaces/CW1234/contractTerms?user=customersupportadmin&passwordAdapter>PasswordAdapter1&realm=s4All-8`

[応答ファイルを確認するには、こちらをクリックしてください。](#)

このほかの Swagger の例については、次のサイトの [Discover] セクションを参照してください: <https://developer.ariba.com/api/>